日本医療機能評価機構 認定第 JC 1994 号

KMU 金沢医科大学氷見市民病院

広報誌

氷見かけはし KAKEHASHI

2026 秋 Vol.69

患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌



TOPICS ●トピックス

夏休み親子ふれあい医療フェスティバル

ドクターヘリ見学

CONTENTS ●もくじ

TOPICS 夏休み親子ふれあい医療フェスティバル …… P.01
植田先生の診察室から …… P.03
診療コラム …… P.04
病院★ニュース …… P.05
病院からのお知らせ掲示板 …… P.06
デイケア通信 …… P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院のホームページ
http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/

金沢医科大学氷見市民病院



第12回 夏休み親子ふれあい医療フェスティバル





日時
令和8年8月2日（日）
9:00～12:00

会場
金沢医科大学
氷見市民病院

令和8年8月2日（日）、「第12回夏休み親子ふれあい医療フェスティバル」を開催し、朝から多くの親子連れの姿が見られました。夏休み期間中の恒例行事として定着したこのフェスティバルは、医療を身近に感じてもらい、命の大切さや最先端の現場への理解を深めてもらおうと開催しています。今年も市内外各所より参加者が来院し、会場は、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔で大いに賑わいました。



ミニ講座

眼科 藤田信之医師による
「明るい未来のために知っておきたい こどもの近視」のミニ講義

初めに、眼科の藤田信之医師から「明るい未来のために知っておきたい こどもの近視」のミニ講義を行いました。スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、現代の子どもたちを取り巻く視環境は大きく変化しており、藤田医師は、卵型の眼球が将来的にさまざまな眼の病気を引き起こすリスクが高まることなどを、スライドや分かりやすい言葉を交えて丁寧に解説しました。

会場には保護者も来院されており、子どもと一緒に真剣な表情で耳を傾けていました。日頃から気になっていた素朴な疑問や、スマートフォンやタブレット端末等との使い方について学ぶことができ、家庭での生活習慣を見直す貴重な機会となったという意見が聞かれました。



講義の後は、体験・見学コーナーへと移り、今年は**「リハビリ体験コース」「手術室見学コース」「内視鏡体験コース」「救急車見学コース」の4つのコース**が用意され、子どもたちはそれぞれの会場で、医師・看護師や医療スタッフからの説明を受け、体験を行いました。

「リハビリ体験コース」では、専門スタッフの指導のもと、車いすの操作やリハビリ器具・用具に接することで、身体を動かす楽しさや機能を回復させる医療の重要性を体感しました。



車いすを実際に操作しながら、
リハビリテーションの仕事を体験。

「手術室見学コース」では、普段立ち入ることのできない手術室にて、テレビドラマでしか見たことのない本物の医療機器を操作したり、心電図・血圧などが表示されたモニターの説明を受けたりと、子どもたちはもちろん、保護者の方々も深く興味を持たれたと思います。



普段は入ることのできない手術室を見学。
腹腔鏡を使って手術体験にチャレンジ!

「内視鏡体験コース」や**「救急車見学コース」**でも、最先端の機材や実際の救急車両を間近にし、驚きと楽しく声を上げる子どもたちの姿が印象的でした。



医療スタッフの指導のもと
内視鏡スコープの挿入体験。



迫力のあるドクターヘリを間近で見学。子どもたちや保護者からも歓声が上がりました。

屋外の特別展示エリアでは、本イベントの目玉の一つである「ドクターヘリ見学」が実施されました。普段、間近で見ることのないドクターヘリは大きく、子どもたちはもちろん、保護者の方々から「初めて見た」「かっこいい」などの声が聞かれました。命を救う最前線で活躍する機体を前に、子どもたちは医療の現場が持つ重みと、それを支えるプロフェッショナルの姿を肌で感じ取ったのではないでしょうか。

参加した保護者からは「皆さんの対応も優しく丁寧で、子どもがすごく楽しんで学んでいて、また機会があればぜひ参加したいです」「ドクターヘリやオペ室を見学でき、感動ばかりでした」「触ることのない医療器具に触れることができて貴重な体験でした。子どもはリハビリ体験が一番良かったと言っており、帰りのドーナツも嬉しかった」といった喜びと感謝の声が数多く寄せられました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今後も地域の皆さんに医療をより身近に感じていただけるよう、さまざまな活動を行ってまいります。



実際の救急車に乗りこみ、車内を見学。
救急車の中の機器に興味津々の子どもたち。

植田先生の診察室から

整形外科

植田 修右

SHUSUKE UEDA

金沢医科大学氷見市民病院　整形外科の植田修右と申します。令和8年4月より診療科長として着任いたしました。私は金沢医科大学を卒業後、そのまま大学病院で臨床研修医課程を修了、整形外科学に入局いたしました。平成29年には宝達志水病院に出向し、地域医療を勉強させていただきました。その後大学に戻り、動物実験や培養細胞をもちいた基礎研究を行いながら、外傷や関節疾患、特に肩関節疾患に対する診療を行い、研鑽を積んできました。

金沢医科大学氷見市民病院には研修医時代に教わった恩師や、当時大学で診療のリーダーシップをとっていたスーパースターがたくさん勤務されておられます。自分も同じ職場で働かせていただけることはとても光栄なことだと感じています。また、令和8年4月から病院長として着任された川原範夫教授は、私が入局した際に金沢大学から金沢医科大学に特任教授として就任され、15年間同じ職場で働かせていただきましたので、今回の異動に関しても何か運命的なものを感じます。



現在整形外科には3人の常勤医師がいます。膝関節疾患を専門とする北島宏矩医師は再生医療など最先端の治療を診療にとりいれ、臨床研究も積極的に行っています。村上宗駿医師はまだ若いながら、まじめに一生懸命診療に打ち込んでおります。川原範夫病院長は脊椎・脊髄疾患治療の権威であり、多くの難しい疾患に対しても治療を行ってこられました。今の整形外科スタッフは非常に充実したメンバーで、あらゆる疾患に対して対応できます。氷見市民の方々に少しでも貢献できるよう粉骨砕身頑張っていきたいと思いますので、皆様のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



植田 修右 ★ 略歴

【学歴・職歴】

平成20年 3月	金沢医科大学　医学部医学科　卒業
平成22年 4月	金沢医科大学　整形外科　入局
平成27年 4月	金沢医科大学　整形外科学　助教
令和4年10月	金沢医科大学　整形外科学　講師
令和8年 4月	金沢医科大学　整形外科学　准教授
	金沢医科大学氷見市民病院
	整形外科　准教授

【資格】

- 日本専門医機構　整形外科専門医
- 日本整形外科学会　リウマチ認定医
- 日本再生医療学会　再生医療認定医
- 日本整形外科学会　整形外科指導医
- 日本整形外科学会　運動器リハビリテーション認定医
- 日本リハビリテーション医学会　認定臨床医
- 日本遺伝子細胞治療学会　認定医

【所属学会】

- 日本整形外科学会
- 日本股関節学会
- 中部整形外科災害外科学会
- 日本酸化ストレス学会
- 日本肩関節学会
- 日本人工関節学会
- 日本再生医療学会
- 日本臨床分子形態学会
- 日本リハビリテーション医学会
- 日本関節病学会
- 日本遺伝子細胞治療学会

診療コラム

病院事務部の紹介

病院事務部は、総務課・医事課・人事課の3つに分かれております。各課がどのような業務を行っているか紹介します。



総務課

総務課は、院内の〝何でも屋さん〟であり、病院運営に関わる幅広い業務を一手に引き受けている部署です。「これってどこに聞けばいいのだろう?」と迷った院内の出来事や情報は、まず総務課に集まります。

主な業務内容は、施設・設備管理、広報活動、医療安全・感染事務、システム管理、役員秘書、購買業務、経理業務・予算管理などです。計10名の職員で業務を行っており、運転技術者や院内園芸管理者も在籍しています。

総務課員は、病院の健全な運営と、地域に根ざした安心の医療体制を支えるため、医療の最前線に立つスタッフが何の不安もなく診療に集中できるよう、共に助け合い、常に先回りをした環境整備に努めています。



看護部との打ち合わせ

医事課

医事課は、社会福祉士や委託スタッフを含め、計63名で業務を行っております。

主な業務内容は、診療報酬請求をはじめ、外来受付、施設基準の管理や、医療情報の管理、統計業務、介護保険関係業務、健診業務など、病院運営を支える業務を担っています。また、地域医療連携室では、地域の医療機関との連携を図るほか、社会福祉士が患者さんの入退院支援を行うなど、患者さんと直接かかわる業務にも携わっています。時には、他の医療機関や行政と情報交換を行い、円滑な連携を図れるよう取り組んでいます。

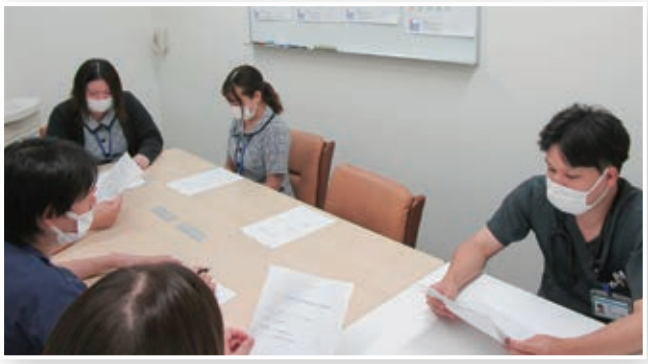
医事課員は、患者さんと直接お話しする機会も多く、より安心して医療を受けていただける環境を整えるとともに、医療現場と病院運営をつなぐ「縁の下の力持ち」として、正確かつ適切な業務を通じて、質の高い医療の提供と地域医療の充実に貢献しています。

人事課

人事課は、課長を含め全員女性の計6名で、日々の業務を行っております。

主な業務内容は、職員の採用・退職手続きや給与計算、出張・旅費や慶弔の手続き、健康管理といった労務全般を行っています。また、産休・育休のサポートやハラスメント対応など、誰もが安心して働ける環境づくりにも注力しています。さらに、未来の医療を担う医学部生や看護・リハビリ学生等の実習受け入れ、医師の臨床研修事務に加え、多忙な医師を支える医局秘書業務も重要な役割です。

人事課員は、地域に信頼される医療を提供できるよう、今後も職員一人ひとりを誠心誠意サポートしていきます。



委員会の様子

氷見高校生の1日看護見学

8月7日、「氷見高校生の一日看護見学」を実施し、氷見高等学校の生徒10名が参加しました。今年で5年目となるこの企画は、氷見市唯一の高校である氷見高校と当院が連携して行っています。

生徒たちは白衣に着替え、患者さんと関わりながら、洗髪や手浴・足浴などの看護体験を行いました。患者さんから「ありがとう」と声をかけられ、「看護師のやりがいを感じた」との感想も聞かれました。座談会では、入試や進路、学校の選び方などについて、氷見高校卒業生の看護師が自身の経験を交えてアドバイスしました。

これからも看護の魅力ややりがいを伝え、氷見市の医療を支える看護師として地域に定着するきっかけとなることを願っています。



看護師体験の様子

放射線部装置更新（パノラマ撮影装置・歯科領域）について

当院では、このたび歯科用のレントゲン装置（パノラマ撮影装置）を更新しました。この装置はお口全体をぐるりと撮影し、すべての歯やあごの骨の状態を1枚の画像で確認できる装置です。新しい装置になったことで、これまでよりも画質が鮮明になり、正確な診断ができるようになりました。さらに、撮影時間が短縮され、体への放射線量も抑えられています。

また、お顔の骨格を精密に測定できる「セファロ撮影」も可能になり、当院で本格的な歯科矯正治療がお受けいただけるようになりました。歯並びや親知らずが気になる方は、歯科口腔外科までご相談ください。



AI支援 内視鏡システム導入

年に一度の住民健診や人間ドックは、自覚症状のない初期の病気を見つける大切な機会です。

当院では、令和6年度に、検査の精度を高めるため、人工知能（AI）支援の内視鏡システムを導入いたしました。内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）において最も重要なのは、がんの元となる微小なポリープや病変を見逃さないことです。今回導入したシステムは、検査中の映像をAIがリアルタイムで解析し、医師が見落としがちな小さな異変を瞬時にキャッチして知らせます。「経験豊富な内視鏡専門医の目」と「高度なAIの技術」の強力なダブルチェック体制により、これまで以上に精度の高い健診が可能になりました。

更に、今年度は最新のスコープを3台導入し、より高度な画像確認を可能としております。

がんは早期に発見できれば、体に負担の少ない治療で完治を目指せる病気です。「そろそろ人間ドックの時期だな」「最新の設備でしっかり検査したい」とお考えの方は、当院の人間ドックをご利用ください。



人間ドック申込
- 健康管理センター　Tel.74-1900
- フリーダイヤル　Tel.0800-200-5134

病院からのお知らせ掲示板

第16回 広げようブルーサークル in ひみ 健康講座　開催のお知らせ

医療スタッフによる講演やレクレーションを通じて、生活習慣を見直し、予防の大切さと発病について学びませんか。血圧・血糖測定や、栄養評価コーナー等をご用意しています。皆様の参加をお待ちしております。

日　時	11月21日（土）午後1時30分～午後4時 （受付：午後12時30分～）
場　所	氷見市芸術文化館 2階ホール
申込方法	医事課（内線1022）にお電話、申込用紙にて

参加無料

内容（一部紹介）

◎講演

「歯周病と糖尿病について」

講師：かわかみ歯科医院 院長　川上 清志 先生



◎特別講演

「古くて新しい糖尿病（ダイアベティス）の話」

講師：彦根市立病院 診療局長 兼
糖尿病代謝内科主任部長　黒江 彰 先生

※氷見きときと健康ポイント対象

ご来院時のマスク着用について



現在、病院内でのマスク着用は原則として「個人の判断」としております。※ただし、下記の方はマスクの着用をお願いいたします。

● 症状がある方



咳、くしゃみ、鼻水、熱などの症状がある方は、周囲の方への感染防止のため、必ずマスクの着用をお願いいたします。

● 面会の方

病院内には重症化リスクの高い患者さんが多くいらっしゃいます。入院患者さんの感染を防ぐために、マスクの着用をお願いいたします。

● 職員からの要請時

感染症流行の状況により職員からマスクの着用をお願いすることがありますが、その際はご協力をお願いいたします。

インフルエンザワクチン接種のご案内



実施期間

令和8年10月1日～令和9年1月31日
月曜日～金曜日（土曜日・日曜日・祝日は行いません）

対象者（氷見市に住民登録のある方）

- 小　児（未就学児～小学6年生まで）…… 助成対象 要予約
- 中学生 …… 助成対象 要予約
- 高校生、65歳以上 …… 助成対象
- 18歳～65歳未満 …… 助成対象外

料金（助成対象者は助成後の金額）

- 高校生、65歳以上 …… 1,500円
- 18歳～65歳未満 …… 4,500円

◎インフルエンザHAワクチン

- 小児（未就学児～小学6年生まで）…… ［1回目］1,500円 要予約
  ［2回目］500円 要予約
- 中学生は1回のみの接種 …… 1,500円 要予約

◎経鼻弱毒インフルエンザワクチン

- 2歳～18歳 …… 2,800円 要予約

受付

高校生・一般

・高校生、一般は予約不要です。（午前のみ実施）
接種をご希望の方は、専用受付（総合受付前）までお越しください。
・専用受付に整理券番号札がありますので、整理券番号札を取ってお待ちください。
［受付時間：8時30分～11時］（受付終了15分前にはお越しください）
※65歳以上の方は、氷見市からインフルエンザワクチン接種の予診票が郵送されます。必ず予診票をご持参のうえお越しください。
予診票をお持ちでない方は予防接種ができません。
※受診当日に接種を希望される方も、診療の前に必ず専用受付で受付をお願いいたします。
※高校生で経鼻弱毒インフルエンザワクチンをご希望の方は予約が必要です。（Ｊ受付：内線2100）

小児・中学生

・小児、中学生は予約制です。
お電話にてご予約いただき、ご来院ください。（Ｊ受付：内線2100）
［受付時間：14時～16時］（受付は2階Ｊ受付で行います）
※受給者証（ピンクカード）を必ずお持ちください。
※氷見市からインフルエンザ接種の接種券が届きます。
必ずご持参ください。

問い合わせ

金沢医科大学氷見市民病院　医事課（内線1022）

※当院では新型コロナウイルスワクチン接種を実施いたします。
予約は不要です。詳しくは、医事課までお問い合わせください。

年末年始休診のお知らせ



12月29日（火）～1月3日（日）の間は、外来診療を休診します。

なお、緊急の場合や救急患者さんについては、救急外来にて常時対応しています。

患者さんへのお願い

◎受診の際はマイナンバーカードをご持参ください。
◎夜間や休日は救急患者さんの診療を優先的に行っています。
緊急を要しない場合は、できるだけ通常の診療時間内に受診いただくようお願いします。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。
8. 安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して充分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。
  また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話しください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

デイケア通信

季節を感じる壁面制作

通所リハビリテーションでは、季節に合わせた壁面制作を行っています。



今回は、夏に皆さんと制作した「朝顔」と、昨年の秋に制作した「さつまいも」をご紹介します。

朝顔は、ペーパータオルに絵の具を染み込ませ、一枚一枚違った色や模様の花を作りました。壁に貼ると、一面に綺麗な朝顔が咲いているようです。さつまいもは、新聞紙を丸めてお花紙で包むことで、ぷっくりと美味しそうなお芋になりました。絵の具をつけたり、切ったり、貼ったりと、それぞれができる事を担当し、皆さんと一緒に制作しています。今年の秋は、色とりどりの紅葉を制作中です。完成した作品が壁面を彩るのが楽しみです。



秋は朝晩と日中の気温差が大きくなります。衣類で調節し、体調の変化に気をつけて過ごしましょう。涼しくなっても水分補給を忘れず、元気に秋を楽しみたいですね。

表紙について

今号の表紙を飾るのは、「第12回夏休み親子ふれあい医療フェスティバル」にて特別展示されたドクターヘリです。富山県立中央病院と東邦航空株式会社のご協力により、実現することができました。真夏の屋外展示となりましたが、参加された皆さんは暑さにも負けず、間近で見るドクターヘリを熱心に写真に収めていました。つかの間の展示ではありましたが、子どもたちのうれしそうな笑顔を見ることができ、私たちスタッフも元気をもらうことができました。詳しくは1〜2頁の関連記事をご覧ください。

編集後記

令和8年8月27日に大雨特別警報（警報レベル5）が発令し、氷見市で観測史上最大の雨量を記録しました。被災された市民の方々にはお見舞い申し上げます。

ご自宅が損壊された方や浸水された方が多数いらっしゃることに対し、能登半島地震の復興の最中での出来事であり氷見市の一日も早い復興を祈念いたします。

当院の職員にも被災された方が多くいらっしゃる中で、診療体制を守っていただいたことに対し深く感謝すると共に、氷見市の復興に貢献しなければいけないと感じております。

氷見市の方に令和8年8月、市内在住の18歳以上の方の中から1,800人を抽出したアンケート調査を行っていただきました。このアンケートは今後の地域医療提供体制の充実を目的としており、持続可能な医療を安定して提供出来るよう皆様からアイデアをいただきながら、今後の運営に活かして参ります。

かけはし秋号編集委員 事務長　宮井 公一

■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ“かけはし”となることを願って命名されました。

病院広報誌「かけはし」へのご意見等はこちら

https://forms.gle/KPuhcusKD87gkQ9j6

発行：金沢医科大学氷見市民病院 広報委員会　〒935-8531 富山県氷見市鞍川1130番地　TEL.0766-74-1900（代）FAX.0766-74-1901　http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/